

事後評価概要

事業名	ほ場整備事業	地区名	さいじょう 齋条												
事業箇所	行田市	事業実施機関	加須農林振興センター												
総事業費	9億8700万円	事業期間	平成12年度～平成20年度												
事業の概要	<p>事業目的 本地区は、昭和初期に10a区画で整備されているが、道路は狭く、用排水路は兼用であるため、非効率な農作業を強いられていた。 このような状態を解消するため、農地の大区画化や汎用化を推進し、地域農業の中心となる担い手を育成し、集团的土地利用の構築や農作業の合理化を図り、生産性の高い農業構造を確立する。</p> <p style="text-align: right;">平面図</p> <p>事業内容</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>区画整理</td><td>A = 75.2 ha</td></tr> <tr><td>整地工</td><td>A = 74.8 ha</td></tr> <tr><td>道路工</td><td>L = 9.6 km</td></tr> <tr><td>用水路工</td><td>L = 10.4 km</td></tr> <tr><td>排水路工</td><td>L = 6.0 km</td></tr> <tr><td>暗渠排水</td><td>A = 74.1 ha</td></tr> </table> 			区画整理	A = 75.2 ha	整地工	A = 74.8 ha	道路工	L = 9.6 km	用水路工	L = 10.4 km	排水路工	L = 6.0 km	暗渠排水	A = 74.1 ha
区画整理	A = 75.2 ha														
整地工	A = 74.8 ha														
道路工	L = 9.6 km														
用水路工	L = 10.4 km														
排水路工	L = 6.0 km														
暗渠排水	A = 74.1 ha														
事業効果	<p style="text-align: center;">事業実施前と現在での比較</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">実 施 前</th> <th style="width: 35%;">現 在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>担い手の経営面積</td> <td style="text-align: center;">11.1 ha</td> <td style="text-align: center;">51.5 ha</td> </tr> <tr> <td>小麦</td> <td style="text-align: center;">60.0 ha</td> <td style="text-align: center;">68.5 ha</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td style="text-align: center;">0.0 ha</td> <td style="text-align: center;">9.2 ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>区画拡大を実施した農地は、担い手への農地利用集積が進むとともに効率的な農業経営が可能となった。 また、用排水の整備により、小麦や大豆の作付け等、品目の拡大が図られ、農地の有効利用が図られるようになった。</p>				実 施 前	現 在	担い手の経営面積	11.1 ha	51.5 ha	小麦	60.0 ha	68.5 ha	大豆	0.0 ha	9.2 ha
	実 施 前	現 在													
担い手の経営面積	11.1 ha	51.5 ha													
小麦	60.0 ha	68.5 ha													
大豆	0.0 ha	9.2 ha													
その他	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;"> 施工前 (平成19年度撮影) </p> <p style="text-align: center;"> 施工後 (道路・用水路) 完了後 (大豆の収穫) (平成19年度撮影) (平成24年度撮影) </p>														
事後評価結果	<p>事業の実施により、農業機械の作業効率の向上や用排水路の維持管理の軽減が認められる。 また、担い手への農地利用集積(経営規模拡大)や小麦・大豆の作付面積拡大が図られている。</p>														